

科目番号	52105	分類	基礎助産学	履修者	高度実践助産コース	学年	1		
科目名	家族社会学特論 (Advanced Family Sociology)						1		
							配当セスター 後期		
担当者	○松島 紀子	区分	助産師プログラム	選択	単位	1	時間数	15	
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連			
<p>【概要】 家族の様々な諸相を理解するために、家族社会学についての基礎的な概念や内容を学ぶ。そして、現代の家族問題への理解と社会的対応について整理し、共働き家族、高齢者介護、児童虐待、ドメスティックバイオレンスなどの現代の家族問題に言及する。そのうえでリプロダクティブヘルス・ライツに影響を及ぼす現代社会の課題やジェンダーに関連し、ジェンダー格差が健康にもたらす影響について学び、家族社会学の視点から人々をエンパワーメントする方策を検討する。DVは周産期に増加する傾向にあるため、DV緊急対応ができるようにする。</p> <p>【目標】 1. ジェンダーの視点を学ぶことで家族社会学におけるジェンダー分析が理解できるようにする。 2. 現在の家族問題とその対応について学ぶ。 3. リプロダクティブヘルスライツと家族問題について学ぶ。 4. 社会や家族の中で生じる暴力について学び、その対応を学ぶ。</p>						1. 自律して自然分娩の支援ができる能力			
						2. 院内・院外助産システムを担うことができる能力			
						○ 3. 女性の生涯にわたる健康を支援できる能力			
						4. 周産期の救急時に対応できる能力			
						5. 他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力			
						○ 6. 研究・開発能力			
						7. 倫理的意思決定能力			
授 業 計 画									
回	内 容							担当教員	
1回	家族社会学の概論							松島	
2回	ジェンダーについて								
3・4回	リプロダクティブ・ヘルス・ライツについて ①生殖技術と家族（中絶、不妊）								
5回	②生殖補助技術がもたらした影響（心理、制度）								
6回	社会・家族の中の暴力におけるジェンダー分析								
7回	DV、デートDV、セクシャルハラスメント								
8回	児童虐待、高齢者虐待について 暴力における対策について								
事前・事後学習	事前学習：授業計画の内容をもとに、各自自習した上で授業に臨むこと。 事後学習：配布資料を復習する。また、場合によってはレポートを課す。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み立てる。								
評価の方法	レポート100% レポートのフィードバックを行う。								
参考図書・資料等	レポートを書く際に、必ず、事前にレポート、論文の書き方に関する文献を読んでおくこと。 ◎は授業の必携図書ですので、購入していただきます。								
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								